

# 「地域評価指標のひな型」(エクセルファイル) の使い方 (ver1.0)

2020年5月

まち・ひと・しごと創生本部事務局

# 本資料の目的と構成

- 本資料は、「地域評価指標のひな型」（エクセルファイル）の使い方を説明するものです。
- 「地域評価指標のひな型」（エクセルファイル）は、少子化に関連する客観的指標を整理し、市区町村間の比較などを通じて、地域特性の把握に生かすためのものです。
- あらかじめ、ダミーの市区町村データ・偏差値、それを視覚化したレーダーチャートなどが入力されています。このデフォルトのデータを、自市区町村のデータ、比較対象とする市区町村（同じ都道府県内の市区町村を想定）のデータに置き換えることによって、市区町村間で各種指標の比較ができます。

## 本資料の構成

### I. シートの構成

1. シートの構成
2. シートを使って分かること

### II. シートの作成

1. 市区町村名を入力する
2. 比較する指標を選ぶ
3. 元データを取得する
4. 指標シートにデータを入力する
5. 偏差値を確認する
6. 分野別レーダーチャートを確認する
7. 総合レーダーチャートを確認する

### III. 補足

1. 困ったときは・・・

# I . シートの構成

# 1. シートの構成

対象シート

指標

偏差値

分野別  
レーダーチャート

分野別偏差値と  
総合レーダーチャート

元データ

取得元

## 6枚のシートとそれぞれの概要：

- ▶ 「地域評価指標のひな型」（エクセルファイル）には、6枚のシートが含まれています。
- ▶ それぞれのシートの説明は以下の通りです。
- ▶ あらかじめファイルに入っているデータ・偏差値・レーダーチャートは、すべてダミーのデータに基づくものです。

### ① 指標

少子化に関連する客観的指標について、7つの分野に沿って、個別指標のデータ（※）を整理するシートです。

※（②～④で偏差値計算及びレーダーチャート作成に使用するデータであり、必要に応じて⑤（元データ）を加工した後のもの）

### ② 偏差値

指標シートに入力されているデータについて、都道府県内の市区町村で比較した偏差値を示すシートです。

### ③ 分野別レーダーチャート

偏差値シートのデータについて、分野ごとにレーダーチャートで示すシートです。

### ④ 分野別偏差値と総合レーダーチャート

各分野内の個別指標の偏差値の平均を算出し、7つの分野の総合的なレーダーチャートを示すシートです。市区町村同士を総合的に比較することができます。

### ⑤ 元データ

指標シートに入力されているデータの元データを整理するシートです。

### ⑥ 取得元

元データシートに入力されているデータの取得元を整理するシートです。

## 2. シートを使って分かること i

対象シート

指標

偏差値

分野別  
レーダーチャート

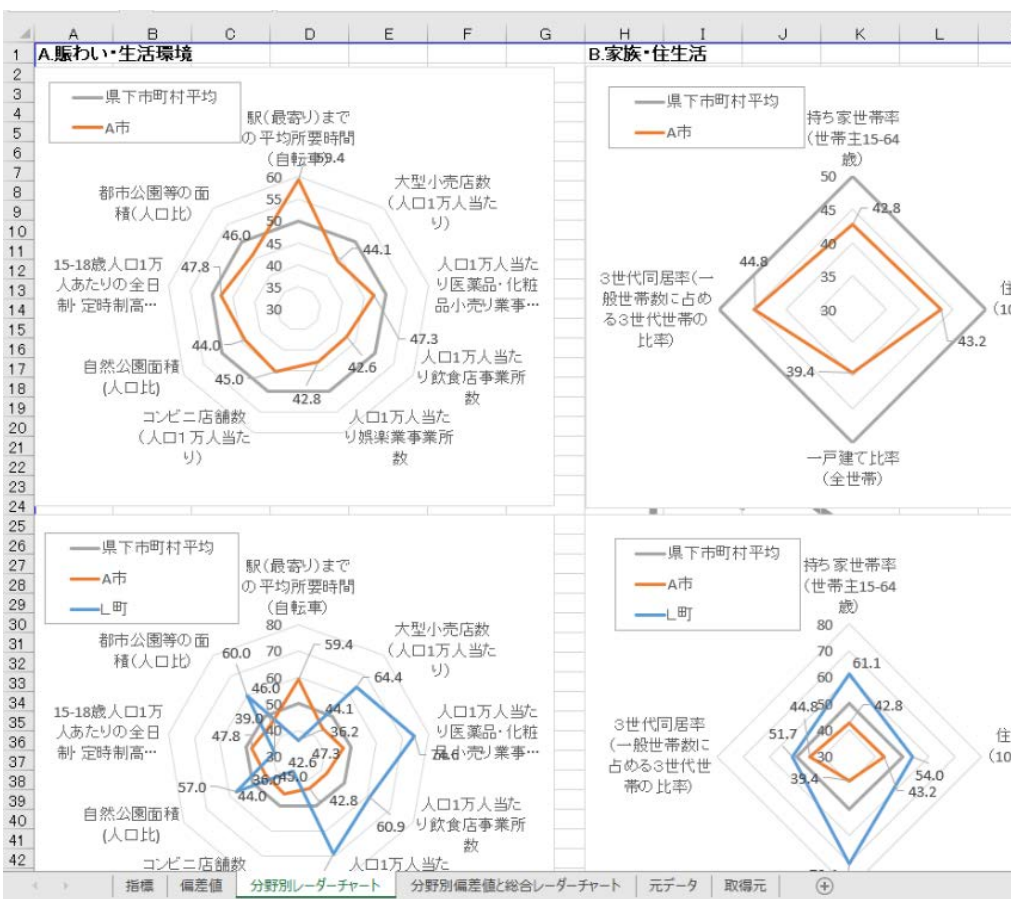
分野別偏差値と  
総合レーダーチャート

元データ

取得元

### 「分野別レーダーチャート」シート：

- ▶ 7つの分野（A賑わい・生活環境、B家族・住生活、C地域・コミュニティ、D医療・保健環境、E子育て支援サービス、F働き方・男女共同参画、G経済・雇用）ごとに、自市区町村の特徴（強みや課題）を把握することができます。



「分野別レーダーチャート」のシートでは、7つの分野ごとに市区町村の個別の指標の特性を見ることができます。

上部の図は選択した市区町村単独のレーダーチャートです。都道府県内市区町村平均値（50）と比較して、数値が高いか低いかが分かります。

下部のレーダーチャートでは2つの市区町村の比較ができます。

各分野の個別の指標を比較することで、各分野ごとに、自市区町村のどこに強みがあり、どこに課題があるかをより具体的に把握する手助けとなります。

## 2. シートを使って分かること ii

対象シート

指標

偏差値

分野別  
レーダーチャート

分野別偏差値と  
総合レーダーチャート

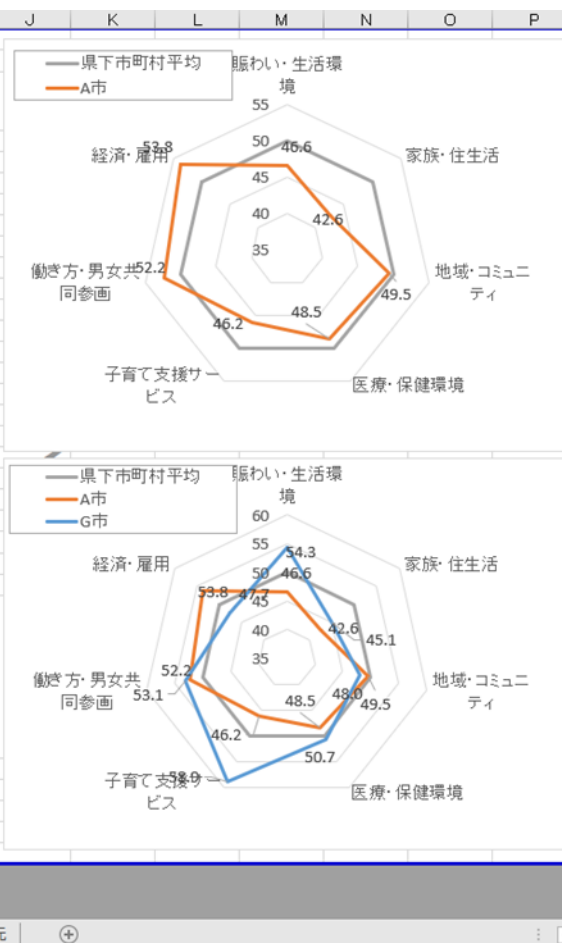
元データ

取得元

### 「分野別偏差値と総合レーダーチャート」シート：

▶ 7つの分野横断で、自市区町村の特徴（強みや課題）を総合的に把握することができます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	一覧表															
2	分野別偏差値															
3			賑わい・生活環境	家族・住生活	地域・コミュニティ	医療・保健環境	子育て支援サービス	働き方・男女共同参画	経済・雇用							
4	50201	A市	46.6	42.6	49.5	48.5	46.2	52.2	53.8							
5	50202	B市	53.1	44.2	46.5	53.5	46.3	49.4	57.4							
6	50203	C市	48.8	41.8	48.4	49.5	50.2	50.3	51.9							
7	50205	D市	57.6	34.9	49.9	57.5	58.6	53.9	45.8							
8	50206	E市	53.2	39.9	54.0	45.8	47.0	45.4	49.5							
9	50207	F市	51.8	53.0	46.0	44.8	47.5	56.9	47.6							
10	50208	G市	54.3	45.1	48.0	50.7	58.9	53.1	47.7							
11	50209	H市	46.8	55.4	48.4	43.1	51.7	51.0	49.6							
12	50210	I市	49.0	51.9	45.1	45.5	50.8	48.9	47.9							
13	50211	J市	46.9	52.2	46.3	45.8	51.1	52.3	52.9							
14	50303	K町	58.8	60.7	61.4	68.9	46.9	48.8	53.7							
15	50304	L町	55.2	59.3	57.1	44.2	50.8	48.0	51.2							
16	50305	M町	56.9	48.9	54.8	61.8	42.7	46.9	40.8							
17	50306	N町	42.1	47.7	45.0	41.6	50.3	39.5	41.9							
18	50341	Q町	45.7	41.0	46.7	52.1	50.6	50.7	57.2							
19	50342	P村	48.5	38.5	49.1	49.6	41.4	46.3	52.3							
20	50343	Q村	53.5	55.2	48.1	47.2	51.8	48.9	49.7							
21	50344	R村	43.1	58.2	45.7	49.3	53.9	55.8	56.5							
22	50345	S村	46.8	63.4	61.7	55.1	54.8	51.8	45.6							
23	50561	T村	41.1	66.2	48.5	45.6	48.5	49.8	47.0							
24																
25																
26	レーダーチャート作成用															
27	↓番号(地方公共団体コード)を入力すると市区町村名および数値が自動的に変わり、右のレーダーチャートに反映されます															
28			賑わい・生活環境	家族・住生活	地域・コミュニティ	医療・保健環境	子育て支援サービス	働き方・男女共同参画	経済・雇用							
29		県下市町村平均	50	50	50	50	50	50	50							
30	50201	A市	46.6	42.6	49.5	48.5	46.2	52.2	53.8							
31	50208	G市	54.3	45.1	48.0	50.7	58.9	53.1	47.7							
32																
33																
34																
35																
36																
37																
38																
39																



「分野別偏差値と総合レーダーチャート」のシートでは、分野ごとに算出された個別指標の偏差値の平均値（分野別偏差値）と、それらを1つにまとめて視覚化したレーダーチャートを確認することができます。

上部のレーダーチャートでは、選択した市区町村について、都道府県内市区町村平均値（50）と比較してどの分野が高いか低いかがわかります。下部のレーダーチャートでは、2つの市区町村の偏差値を比較することができます。

選択した市区町村との比較で、自市区町村が7つの分野のどこに強みや課題があるのかを把握する手助けとなります。

## Ⅱ. シートの作成

# 1. 市区町村名を入力する

対象シート

指標

偏差値

分野別  
レーダーチャート

分野別偏差値と  
総合レーダーチャート

元データ

取得元

## TO DO :

- ▶ 都道府県の市区町村の数に合わせて該当シートのエクセルシートの行を増減させる。
- ▶ 比較対象となる市区町村名と地方公共団体コード(※)を入力する。

※ナンバリングの一例であり、これ以外のナンバリング(例:1,2,3...)でも構いません。地方公共団体コードはこちら⇒ <https://www.soumu.go.jp/denshijiti/code.html>

	A	B	C	D	E
1	指標		A賑わい・生活環境		
2			A賑わい・生活環境		
3		No.	A1	A2	A3
4		データ名	駅(最寄り)までの平均所要時間(自転車)	大型小売店数(人口1万人当たり)	人口1万人当たり医薬品・化粧品小売業事業所数
11	50202	B市	14.8	1.5	8.9
12	50203	C市	12.2	0.8	7.1
13	50205	D市	16.8	2.4	6.6
14	50206	E市	13.9	2.7	9.1
15	50207	F市	9.7	1.3	6.9
16	50208	G市	11.2	1.1	7.8
17	50209	H市	9.6	0.6	3.5
18	50210	I市	12.9	1.3	7.0
19	50211	J市	21.7	1.7	5.8
20	50303	K町	6.9	3.0	3.0
21	50304	L町	49.5	2.9	12.9
22	50305	M町	56.8	2.3	11.4
23	50306	N町	58.2	1.5	5.3
24	50341	O町	58.3	1.2	9.3
25	50342	P村	12.3	1.6	7.2
26	50343	Q村	34.2	3.2	4.8
27	50344	R村	43.1	0.0	5.9
28	50345	S村	29.5	1.0	5.1
29	50561	T村	14.9	0.0	4.5

(注)比率算出に用いた分母人口(※2:×県統計課「×県人口推計」)  
※3:総務省「住民基本台帳」に基づく  
※4:資本金5千万円を超える企業

① 対象シートのA、B列にある市区町村の数(デフォルトで20行)を、都道府県の市区町村数に合わせて調整します。

例:市区町村数が30の場合、30-20=10行追加します。

やり方:12~28行目の間の任意の行を選択し、「挿入」を選択します。

注意点:デフォルトの11・29行目はシート保護のためさわらないでください。

② 各行のA列に地方公共団体コードを、B列に市区町村名を入力します。

①

4									
11	50202	B市	101.1	2.402	90.5	44.8	5.2	14	
12	50203	C市	103.0	MS Pゴ	11	A	4.8	12	
13	50205	D市	99.0	B I			3.5	16	
14	50206	E市	97.0	3.609	81.8	43.8	6.0	13	
15	50207	F市	96.0	X	切り取り(O)		5.9	9	
16	50208	G市	104.8	Ctrl	コピー(C)		4.9	11	
17	50209	H市	98.0	貼付付けのオプション:			4.2	9	
18	50210	I市	99.9	形式を選択して貼り付け(S)...			4.8	12	
19	50211	J市	100.8	挿入(I)			5.0	21	
20	50303	K町	100.0	削除(D)			3.8	6	
21	50304	L町	96.3	数式と値のクリア(N)			4.5	49	
22	50305	M町	98.4	セルの書式設定(E)...			5.1	56	
23	50306	N町	90.9	行の高さ(B)...			6.2	58	
24	50341	O町	98.7	非表示(H)			3.7	58	
25	50342	P村	94.2	再表示(L)			4.7	12	
26	50343	Q村	101.9				3.9	34	
27	50344	R村	108.2				3.4	43	
28	50345	S村	91.2				5.8	99	

②

	A	B	C
1	指標		
2			A賑わい・生活環境
3		No.	A1
4		データ名	駅(最寄り)までの平均所要時間(自転車)
11	14100	横浜市	14.8
12	14130	川崎市	12.2
13	50205	D市	16.8



## 2. 比較する指標を選ぶ i

対象シート

指標

偏差値

分野別  
レーダーチャート

分野別偏差値と  
総合レーダーチャート

元データ

取得元

### TO DO :

- ▶ A.賑わい・生活環境～G経済・雇用までの7つの分野に沿って、デフォルトの指標（あらかじめファイルに入っている指標）を参考にしながら、自分の地域の特性を把握するために活用する指標を検討する。
- ▶ デフォルトの指標以外の指標を使うことも積極的に検討する。

指標	A.賑わい・生活環境									
	Nb.	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9
データ名		駅(最寄り)までの平均所要時間(自転車)	大型小売店数(人口1万人当たり)	人口1万人当たり医薬品・化粧品小売り業事業所数	人口1万人当たり飲食店事業所数	人口1万人当たり娯楽業事業所数	コンビニ店舗数(人口1万人当たり)	自然公園面積(人口比)	15-18歳人口1万人あたりの全日制・定時制高校の学校数	都市公園の面積(人口比)
単位	※1	分	※3 店/万人	※3 店/万人	※3 店/万人	※3 店/万人	※3 店/万人	※3 m <sup>2</sup> /人	※2 校/人	※3 m <sup>2</sup> /人
時点		H26.12.31	H28.6.1	H28.6.1	H28.6.1	H28.6.1	H26.7.1	H30.3.31	R1.5.1	H29.3.31
資料	×	県資料	総務省「統計でみる市区町村のすがた」	総務省「経済センサス」	総務省「経済センサス」	総務省「経済センサス」	×	県資料	×	県資料

- ① 指標はA.賑わい・生活環境やB.家族・住生活など7つの分野に分かれています。それぞれの分野を構成する指標は対象シートのC～AN列にデフォルトで記載されていますので、こういった指標があるかを確認してください。
- ② 自地域の特性にそぐわない指標や取得できない指標などがあれば、適宜指標を削除・変更してください。  
例：コンビニ店舗数より郵便局数のほうが生活の賑わいに直結しているので変更したい  
やり方：コンビニ店舗数のセルを書き換える  
注意点：シート保護のため、分野ごとの境界にある列は削除せずに書き換えるようにしてください。  
「指標」「偏差値」「元データ」「取得元」の4シートの対応する箇所を変更してください。

- ③ 合わせて、8行目の参照した「資料」も変更してください。 8



### 3. 元データを取得する i

#### ① デフォルトの指標 (※) を使う場合

対象シート

指標

偏差値

分野別  
レーダーチャート

分野別偏差値と  
総合レーダーチャート

元データ

取得元

#### TO DO :

- ▶ 取得元シートの「URL」と「データの取得方法補足」を参照しながらデータをダウンロードする。
- ▶ 取得したデータは加工せずに元データシートに記載する。

※指標シート上で資料が「X県資料」となっている指標を除く。当該指標については、P14「②デフォルト以外の指標を作る場合」に準じて対応してください。

B	C	D
賑わい・生活環境		
A1	A2	A3
(最寄り)までの平均所要時間(自転車)	大型小売店数	医薬品・化粧品小売り業民営事業所数
	<a href="https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&amp;layout=data&amp;ststat=000001130275&amp;cycle=0&amp;year=201908month=0&amp;tc1=000001130275">https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&amp;layout=data&amp;ststat=000001130275&amp;cycle=0&amp;year=201908month=0&amp;tc1=000001130275</a>	<a href="https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&amp;layout=data&amp;ststat=000001095895&amp;cycle=0&amp;year=201908month=0&amp;tc1=00000111654978&amp;tc2=00000111654978">https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&amp;layout=data&amp;ststat=000001095895&amp;cycle=0&amp;year=201908month=0&amp;tc1=00000111654978&amp;tc2=00000111654978</a>
	統計でみる市区町村のすがた2019	平成28年経済センサス-生活動向調査
H 居住	産業(小分類)別民営事業所数-全国、都道府県、市区町村	産業(小分類)別民営事業所数-全国、都道府県、市区町村
	上記表内の該当する市区町村の欄にある数値を参照する。	上記表内「事業所数1-2」シート内で、該当する市区町村の行、「603 医薬品・化粧品 小売業」にある該当事業所数を参照する。
指標	偏差値	分野別レーダーチャート

H	I	J	T	U	V
			79	80	81
			飲食店数	大型小売店数	百貨店総合スーパー
市区町村	Municipalities	No. of eating and drinking places	No. of large-scale retail stores	No. of department stores and merchandises	
		H6131 事業所数-number of establishments	H6132 事業所数-number of establishments	H6133 事業所数-number of establishments	
		2018	2018	2018	
北海道	Hokkaido	26.5		829	
100 札幌市	Sapporo-shi	9.5		355	
101 中央区	Chuo-ku	4.1		69	
102 北区	Kita-ku	9		50	
103 東区	Higashi-ku	5		46	
104 白石区	Shiroishi-ku	5		27	
105 豊平区	Toyohira-ku	5		34	
106 南区	Minami-ku	9		24	
107 西区	Nishi-ku	6		32	
108 厚別区	Atsubetsu-ku	2		20	
109 手稲区	Teine-ku	2		28	
110 清田区	Kiyota-ku	2		25	
202 函館市	Hakodate-shi	1.7		41	
203 小樽市	Otaru-shi	7		17	
204 旭川市	Asahikawa-shi	1.7		65	
205 室蘭市	Muroran-shi	6		11	
206 網走市	Kushiro-shi	1.1		29	
207 帯広市	Obihiro-shi	1.3		32	
208 北見市	Kitami-shi	6		28	
209 夕張市	Yubari-shi	0		0	
210 岩手県	Iwanzawa-shi	8		10	
211 網走市	Abashiri-shi	2		5	
212 留萌市	Fumoi-shi	1		9	
213 苫小牧市	Tomakomai-shi	8		26	
214 稚内市	Wakkanai-shi	2		5	
215 美瑛市	Bibai-shi	1		1	
216 伊達市	Ashibetsu-shi	1		1	
217 江別市	Ebetsu-shi	2		25	
218 赤平市	Akabira-shi	1		1	
219 紋別市	Mombetsu-shi	1		2	
220 士別市	Shibetsu-shi	1		9	
991 紋別市	Nawara-shi	1		1	

	A	B	C	D
1				
2				
3				
4				
5				
6	元データ			
7	No.	A2	A3	
	データ名	大型小売店数	医薬品・化粧品小売り業民営事業所数	飲食店数
8				
9	X県	356	1,966	
10	50201 A市	89	550	
11	50202 B市	88	531	
12	50203 C市	18	165	
13	50205 D市	11	30	
14	50206 E市	29	100	
15	50207 F市	16	85	
16	50208 G市	8	59	
17	50209 H市	6	35	
18	50210 I市	31	169	
19	50211 J市	29	98	
20	50303 K町	3	3	
21	50304 L町	2	9	
22	50305 M町	2	10	
23	50306 N町	6	21	
24	50341 O町	2	30	
25	50342 P村	7	31	
26	50343 Q村	6	9	
27	50344 R村	0	17	
28	50345 S村	1	5	
29	50561 T村	0	9	
30				
31				
32				

# 3. 元データを取得する ii

## 具体例①

対象シート

指標

偏差値

分野別  
レーダーチャート

分野別偏差値と  
総合レーダーチャート

**元データ**

取得元

指標G3男女別正規雇用者比率(男性)を例にデータ取得方法を参照する。



平成27年国勢調査就業状態等基本集計

6



e-Stat 統計で見るE  
政府統計の総合窓口

データセット情報  
国勢調査 / 平成27年国勢調査 / 就業状態等基本集計

表示・ダウンロード  
DB API

政府統計名	国勢調査
政府統計コード	00200521
調査の概要	国勢調査は、日本に在る日本人口の調査であり、そのうち国勢調査では、年齢別、性別、職業別、産業別、就業状態等について調査を行う。
提供統計名	平成27年国勢調査
提供分類1	就業状態等基本集計(労働力調査)
表番号	00320
表題	従業上の地位(8区分),
データセットの概要	



表示項目選択  
表示項目を選択します。  
データの抽出(絞り込み)ができます。



表示項目設定  
項目の表示・非表示を設定してください。

表示切替 選択: 1979 全選択: 1979 非選択: 0 全選択 全解除

- 全部
- 北海道
- 札幌市
- 札幌市 中央区
- 札幌市 北区
- 札幌市 東区
- 札幌市 白石区
- 札幌市 豊平区

①URLにアクセスする。

②DBにアクセスする。

③表示項目選択→市区町村を絞り込み→データを参照する。



### 3. 元データを取得する iii 具体例②

対象シート

指標

偏差値

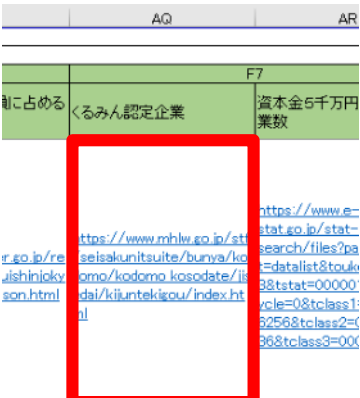

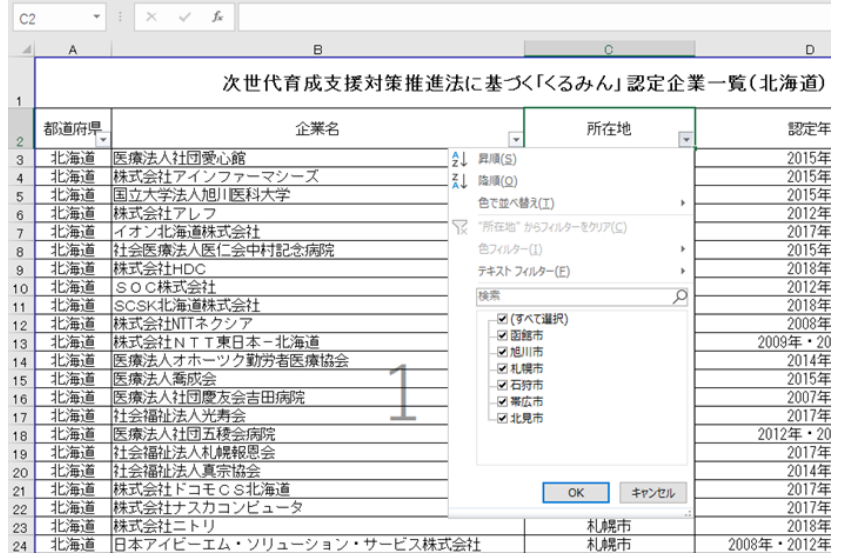
分野別  
レーダーチャート

分野別偏差値と  
総合レーダーチャート

元データ

取得元

指標F7くるみん認定企業を例にデータ取得方法を参照する。

		
<p>① URLにアクセスする。</p>	<p>② 所属する都道府県を選択する。</p>	<p>※図は北海道を例として参照</p> <p>③ 所在地から参照する市区町村を選択し、ソートしたうえで企業数をカウントする。</p>

### 3. 元データを取得する iv 具体例③

対象シート

指標

偏差値

分野別  
レーダーチャート

分野別偏差値と  
総合レーダーチャート

元データ

取得元

指標C2子どもの健全育成NPO法人数を例にデータ取得方法を参照する。

1	C2	子どもの健全育成NPO法人数	指標別
<p>※本資料は、公開されているデータに基づき作成されています。当ページに掲載されているデータは、最新のものと異なる場合があります。</p> <p>なお、この資料は、公開されているデータに基づき作成されています。当ページに掲載されているデータは、最新のものと異なる場合があります。</p>			
2		NPO法人ポータルサイト NPO法人検索条件詳細指定	
3		(上記より個別に集計)	

NPO法人を探す

行政入力情報

法人名称

所轄庁

代表者氏名

主たる事務所の所在地

従たる事務所の所在地

設立認証年月日

定款に記載された目的

活動分野

全選択 全解除

保健・医療・福祉  社会教育  まちづくり

観光  農山漁村・中山間地域  学術・文化・芸術・スポーツ

環境の保全  災害救援  地域安全

子どもの健全育成  国際協力  情報化社会  科学技術の振興

職業能力・雇用機会  男女共同参画社会  消費者の保護

連絡・助言・援助  条例指定

法人番号

入力例：1234567890123 (13ケタの数字を入力してください)

※[閲覧書類ダウンロード]ボタンでは、現在表示されているNPO法人について所轄庁が登録した「閲覧書類等」および、「貸借対照表の公告を含む」のPDFファイルがダウンロード出来ます。

※お使いの端末により、ダウンロードを行えない場合があります。

行政入力情報ダウンロード 閲覧書類ダウンロード 法人入

※図は北海道を例として参照

フィルター

クリア 再適用 詳細設定

並べ替え 並べ替えとフィルター

A	B	C
1	法人名称	主たる事務所の所在地
	特定非営利札幌市	札幌市
2		旭川市
3	特定非営利札幌市	札幌市

旭川市

(すべての検索結果を選択)

現在の選択範囲をフィルターに追加する

旭川市1条通15丁目191番地1-1

旭川市2条通14丁目1523番地

旭川市3条通17丁目4091番地の1

旭川市7条通13丁目60-8ウオーム713

旭川市7条通8丁目左1号

旭川市旭神3条2丁目1番8号

OK キャンセル

※図は北海道 旭川市を例として参照

①URLにアクセスする。

②主たる事務所の所在地で参照する都道府県を、活動分野で「子どもの健全育成」を選択し、検索。「行政入力情報ダウンロード」よりダウンロード。

③ダウンロードしたエクセルシートの1行目を選択、フィルタをかけ、参照する市区町村名で検索し、カウントする。

### 3. 元データを取得する v

#### ② デフォルト以外の指標 (※) を作る場合

例：「12-17歳人口1万人当たりの学習塾数」

対象シート

指標

偏差値

分野別  
レーダーチャート

分野別偏差値と  
総合レーダーチャート

元データ

取得元

#### TO DO :

- ▶ 指標を計算するために必要なデータの種類を考え、当該データの出典となる統計資料等を探す。
- ▶ 取得したデータは加工せずに元データシートに記載する。
- ▶ 取得元シートに当該データの出典URLや資料名などを記載し、あとから出典に辿れるようにする。

※ 指標シート上で資料が「X県資料」となっている指標を作成する場合についても、上記に準じて対応してください。

--	--	--

※ 図は札幌市を例として参照

① 取得元シート・元データシートに2-iiと同じ要領で新しい列を挿入し、指標名を記載する。

② 該当するデータの統計を探し、データをダウンロードする。この際、参照したサイトのURLや表番号、タイトルを控えておき、取得元シートに詳細を記載する。

③ 元データシートに取得した情報を転記する。

# 4. 指標シートにデータを入力する i

対象シート



**TO DO :**

- ▶ 元データシートの元データを参照し、指標シートに該当するデータを入力する。
- ▶ 計算の必要な指標は指標シート上に計算式を入力する。

	A	B	AJ	AK	AL	AM	AN
1	指標						
2	G.経済・雇用						
3		No.	G1	G2	G3	G4	G5
4		データ名	昼夜間人口比	課税対象所得(納税義務者1人当たり)	男女別正規雇用者比率(男性)	男女別正規雇用者比率(女性)	完全失業率(20-44歳)
8		資料	総務省「国勢調査」	総務省「市町村税課税状況等調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」
9		X県	99.9		84.5	43.0	4
10	50201	A市	105.0	3,501	86.3	40.4	5
11	50202	B市	101.1	3,402	90.5	44.6	5
12	50203	C市	103.0	3,204	82.5	42.2	4
13	50205	D市	99.0	3,220	81.3	42.5	6
14	50206	E市	97.0	3,609	81.8	43.8	6
15	50207	F市	96.0	2,987	78.2	47.1	5
16	50208	G市	104.8	2,756	79.4	41.1	4
17	50209	H市	98.0	2,397	80.1	46.1	4
18	50210	I市	99.9	3,201	80.0	40.9	4
19	50211	J市	100.8	3,040	86.1	43.7	5
20	50303	K町	100.0	2,988	81.0	45.0	3
21	50304	L町	96.3	2,687	85.4	45.1	4
22	50305	M町	98.4	2,199	77.0	41.6	5
23	50306	N町	90.9	2,856	77.5	45.5	6
24	50341	O町	98.7	3,387	88.5	43.1	3
25	50342	P村	94.2	3,765	80.0	45.2	4
26	50343	Q村	101.9	2,698	80.8	41.8	3
27	50344	R村	108.2	2,759	78.4	45.5	3
28	50345	S村	91.2	2,435	82.3	47.8	5
29	50561	T村	101.9	2,641	74.2	42.7	2
30							
31							

指標シートにおいて、指標を計算するために必要なデータを元データシートから参照する計算式を入力する。

＜例＞ 男女別正規雇用者数比率(男性)を計算する場合  
 =元データ内の正規雇用者数(男性) / 雇用者数総数(男性)のデータ

**注意点：** 割合の計算などは指標シート上で行い、元データシートには生データのみを入れるようにしてください。

	A	B	AK	AL	AM	AN
1	指標					
2	G.経済・雇用					
3		No.	G2	G3	G4	G5
4		データ名	課税対象所得(納税義務者1人当たり)	男女別正規雇用者比率(男性)	男女別正規雇用者比率(女性)	完全失業率(20-44歳)
8		資料	総務省「市町村税課税状況等調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」
9		X県	3,264	84.5	43.0	
10	50201	A市	=元データ!AL10/元データ!AM10*100	40.4		
11	50202	B市	3,402	90.5	44.6	
12	50203	C市	3,204	82.5	42.2	



# 4. 指標シートにデータを入力する ii 具体例

対象シート



指標A2大型小売店数(人口1万人当たり)を元データから計算式を入力し記入する。

6	市区町村	Municipalities	大型小売店数	百貨店総合スーパー
7			No. of large-scale retail stores	No. of dept. stores and merchandis
8			H8182	H813
9			事業所 number of establishments	事業所数 number of establishments
10			2016	2016
11	01 北海道	Hokkaido		
12	01100 札幌市	Sapporo-shi	355	
13	01101 中央区	Chuo-ku	69	
14	01102 北区	Kita-ku	50	
15	01108 東区	Higashi-ku	46	
16	01104 白石区	Shirashi-ku	27	

6	元データ		
7	No.	A2	A3
8	データ名	大型小売店数	医薬品・化粧品小売業営業所数
9	X県	35	1
10	50201 A市	8	
11	50202 B市	8	
12	50203 C市	1	
13	50205 D市	1	
14	50206 E市	2	
15	50207 F市	1	
16	50208 G市		
17	50209 H市		
18	50210 I市	3	
19	50211 J市	2	
20	50303 K町		

AR10	878781		
A	B	AQ	AR
6	元データ		
7	No.	人口 (2015.1.1)	人口 (2017.1.1)
8	データ名	人口 (2015.1.1)	人口 (2017.1.1)
9	X県	2,853,480	2,792,392
10	50201 A市	888,880	878,781
11	50202 B市	624,620	599,999
12	50203 C市	234,560	231,231
13	50205 D市	46,800	45,678
14	50206 E市	111,110	109,345
15	50207 F市	133,330	123,456
16	50208 G市	76,540	75,319
17	50209 H市	101,100	100,000
18	50210 I市	242,000	243,000
19	50211 J市	170,980	167,890
20	50303 K町	9,990	9,876
21	50304 L町	7,100	7,000
22	50305 M町	8,880	8,765
23	50306 N町	39,990	39,390
24	50341 O町	33,330	32,130
25	50342 P村	44,440	43,210
26	50343 Q村	19,870	18,790

AL11	=元データ!A11!/元			
A	B	C	D	E
1	指標			
2	A販わい・生活環境			
3	No.	A1	A2	A3
4	データ名	駅(最寄り)までの平均所要時間(自転車)	大型小売店数(人口1万人当たり)	人口1万人当たり医薬品・化粧品小売業営業所数
5		※1	※3	※3
6	単位	分	店/万人	店/万人
7	時点	H26.12.31	H26.6.1	H26.6.1
8	資料	X県資料	総務省「統計でみる市区町村のすがた」	総務省「経済センサス」
9	X県	17	1.3	7.0
10	50201 A市	7	1.0	6.3
11	50202 B市	14	1.5	8.9
12	50203 C市	12	0.8	7.1
13	50205 D市	16	2.4	6.6
14	50206 E市	13	2.7	9.1
15	50207 F市	9	1.3	8.9
16	50208 G市	11	1.1	7.8
17	50209 H市	9	0.6	3.5
18	50210 I市	12	1.3	7.0
19	50211 J市	21	1.7	5.8
20	50303 K町	6	3.0	3.0
21	50304 L町	49	2.9	12.9
22	50305 M町	56	2.3	11.4
23	50306 N町	58	1.5	5.3
24	50341 O町	58	1.2	9.3
25	50342 P村	12	1.6	7.2
26	50343 Q村	34	3.2	4.8
27	50344 R村	43	0.0	5.9
28	50345 S村	29	1.0	5.1
29	50561 T村	14	1.4	4.5

①分子となる指標がどの年次に取得されたものかを確認したうえで、元データシートでデータを参照する。

②分母の人口データについて、①で確認した年次に合うデータを元データシートで参照する。

③指標シートにて、「=(①で参照したデータ)/(②で参照したデータ)\*10000」と入力し、値を記載する。

# 5. 偏差値を確認する

対象シート

指標

偏差値

分野別  
レーダーチャート

分野別偏差値と  
総合レーダーチャート

元データ

取得元

## TO DO :

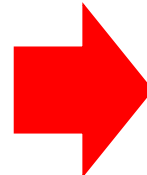
- ▶ 入力した指標をもとに偏差値が算定されているかを確認する。
- ▶ 負の指標(失業率など)の「逆向きの偏差値」を設定する。

No.	G1	G2	G3	G4	G5
データ名	昼夜間人口比	課税対象所得(納税義務者1人当たり)	男女別正規雇用者比率(男性)	男女別正規雇用者比率(女性)	完全失業率(20-44歳)
単位	%	千円	%	%	%
時点	H27.10.1	H30.7.1	H27.10.1	H27.10.1	H27.10.1
資料	総務省「国勢調査」	総務省「市町村税課税状況等調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」
×県					
50201	A市	63.3	62.4		
50202	B市	54.2	60.0		
50203	C市	58.6	55.3		
50205	D市	49.3	55.6		
50206	E市	44.6	65.0		
50207	F市	42.2	50.0		
50208	G市	62.8	44.4		
50209	H市	46.9	35.8		
50210	I市	51.4	55.2		
50211	J市	53.5	51.3		
50303	K町	51.6	50.0		
50304	L町	43.0	42.8		
50305	M町	47.9	31.0		
50306	N町	30.3	46.8		
50341	O町	48.6	59.7		
50342	P村	38.0	68.8		
50343	Q村	56.0	43.0		
50344	R村	70.8	44.5		
50345	S村	31.0	36.7		
50561	T村	56.0	41.7		
指標の平均		99.3	2986.6		
標準偏差		4.28	414.01		

- ① 指標シートにデータをすべて入力すると、偏差値シートに偏差値が自動的に算出されるので確認します。
- ② 「完全失業率」や「刑法犯認知件数」など数値が低いほうが好ましい指標については、逆向きの偏差値を計算する必要があるため、計算式を適宜変更します。  
やり方：デフォルトの計算式の末尾を「\*10+50」から「\*(-10)+50」に変更する。  
**注意点：逆向きの偏差値を算出している行については、それがわかるように行の色を変更し、逆向きであることを余白に記載してください。**

$$=(指標!AL10-偏差値!AL\$30)/偏差値!AL\$31*10+50$$

No.	G1	G2	G3	G4	G5
データ名	昼夜間人口比	課税対象所得(納税義務者1人当たり)	男女別正規雇用者比率(男性)	男女別正規雇用者比率(女性)	完全失業率(20-44歳)
単位	%	千円	%	%	%
時点	H27.10.1	H30.7.1	H27.10.1	H27.10.1	H27.10.1
資料	総務省「国勢調査」	総務省「市町村税課税状況等調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」
×県					
A市	63.3	62.4	=(指標!AL10-偏差値!AL\$30)/偏差値!AL\$31*10+50	33.8	47.3
B市	54.2	60.0	ALL10-偏差値	54.1	46.2
C市	58.6	55.3	偏差値	42.5	50.8
D市	49.3	55.6	AL\$30/	43.7	31.2
E市	44.6	65.0	偏差値	50.2	37.0
F市	42.2	50.0	AL\$31*	66.3	38.1
G市	62.8	44.4	10+50	37.0	49.7



$$=(指標!AN10-偏差値!AN\$30)/偏差値!AN\$31*(-10)+50$$

No.	G1	G2	G3	G4	G5
データ名	昼夜間人口比	課税対象所得(納税義務者1人当たり)	男女別正規雇用者比率(男性)	男女別正規雇用者比率(女性)	完全失業率(20-44歳)
単位	%	千円	%	%	%
時点	H27.10.1	H30.7.1	H27.10.1	H27.10.1	H27.10.1
資料	総務省「国勢調査」	総務省「市町村税課税状況等調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」
×県					
A市	63.3	62.4	61.9	33.8	=(指標!AN10-偏差値!AN\$30)/偏差値!AN\$31*(-10)+50
B市	54.2	60.0	72.6	54.1	AN10-偏差値
C市	58.6	55.3	52.4	42.5	偏差値
D市	49.3	55.6	49.4	43.7	AN\$30/
E市	44.6	65.0	50.6	50.2	偏差値
F市	42.2	50.0	41.4	66.3	AN\$31*(-10)+50
G市	62.8	44.4	44.6	37.0	-10+50

# 6. 分野別レーダーチャートを確認する

対象シート

指標

偏差値

分野別  
レーダーチャート

分野別偏差値と  
総合レーダーチャート

元データ

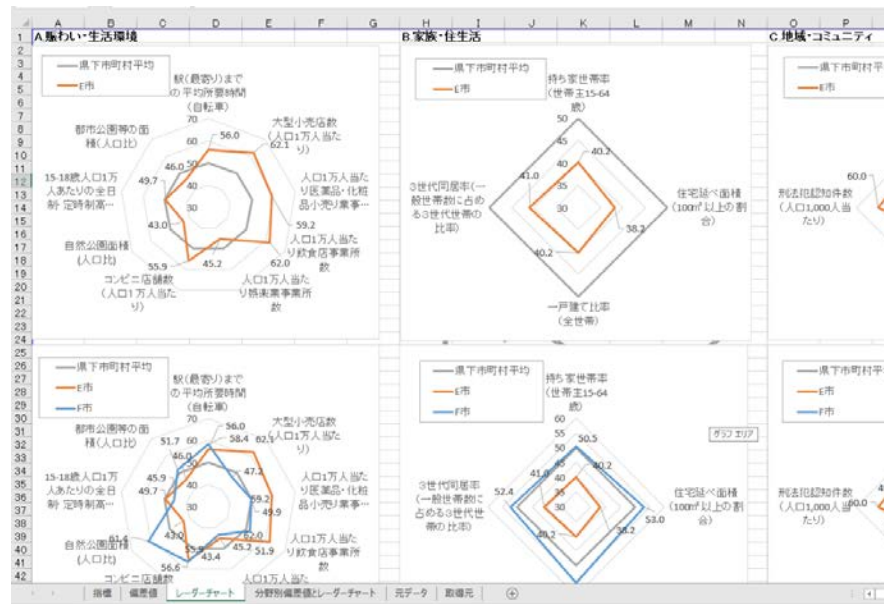
取得元

## TO DO :

- ▶ 偏差値シート下部の「レーダーチャート作成用」欄にチャートを作成したい市区町村のコードを入力する
- ▶ レーダーチャートシート内のレーダーチャートを確認する

	A	B	C	D	E	F	G
1	偏差値		A賑わい・生活環境				
2							
3	No.	A1	A2	A3	A4	A5	
4	データ名	駅(最寄り)までの平均所要時間(自転車)	大型小売店数(人口1万人当たり)	人口1万人当たり医薬品・化粧品小売り事業所数	人口1万人当たり飲食店事業所数	人口1万人当たり娯楽事業所数	
5	単位	分	店/万人	店/万人	店/万人	店/万人	
6	時点	H26.12.31	H28.6.1	H28.6.1	H28.6.1	H28.6.1	
7	資料	X県資料	総務省「統計でみる市区町村のすがた」	総務省「経済センサス」	総務省「経済センサス」	総務省「経済センサス」	
30	標準偏差		17.91	0.91	2.41	18.99	4.77
31			※逆向きの偏差値				
32			賑わい・生活環境				
33	レーダーチャート作成用		賑わい・生活環境				
34	↓番号(地方公共団体コード)を入力すると市町村名および数値が自動的に変わり、「分野別レーダーチャート」シートのレーダーチャートに反映されます						
35		県下市町村平均	50	50	50	50	50
36	50201	A市	59.4	44.1	47.3	42.6	42.8
37	50304	L町	36.2	64.4	74.6	60.9	69.2
38							
39	1	2	3	4	5	6	7
40							
41							
42							

- ① 偏差値シート下部にある「レーダーチャート作成用」のA列に、レーダーチャートを作成したい地方公共団体コードを入力します。入力すると自動的にその市区町村の偏差値が表示されます。
- ② 分野別レーダーチャートのシートに移動し、入力した市区町村のレーダーチャートが作成されているかを確認してください。



# 7. 総合レーダーチャートを確認する

対象シート

指標

偏差値

分野別  
レーダーチャート

分野別偏差値と  
総合レーダーチャート

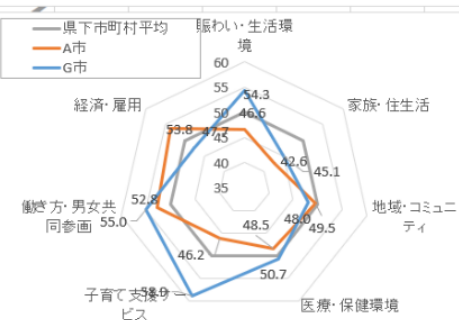
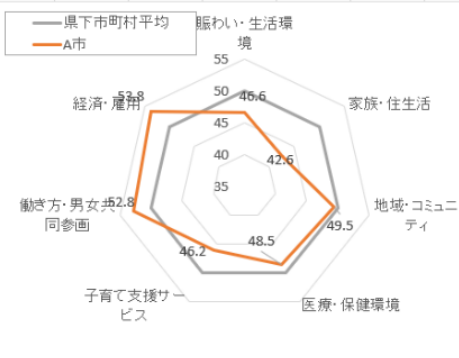
元データ

取得元

## TO DO :

- ▶ 「分野別偏差値と総合レーダーチャート」シート下部の「レーダーチャート作成用」欄にチャートを作成したい市区町村のコードを入力する。
- ▶ シート内でのレーダーチャートを確認する

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	F
1	一覧表															
2	分野別偏差値															
3			賑わい・生活環境	家族・住生活	地域・コミュニティ	医療・保健環境	子育て支援サービス	働き方・男女共同参画	経済・雇用							
4	50201	A市	46.6	42.6	49.5	48.5	46.2	52.8	53.8							
5	50202	B市	53.1	44.2	46.5	53.5	46.3	49.2	57.4							
6	50203	C市	48.8	41.8	48.4	49.5	50.2	50.5	51.9							
7	50205	D市	57.6	34.9	49.9	57.5	58.6	55.6	45.8							
8	50206	E市	53.2	39.9	54.0	45.8	47.0	45.9	49.5							
9	50207	F市	51.8	53.0	46.0	44.8	47.5	53.6	47.6							
10	50208	G市	54.3	45.1	48.0	50.7	58.9	55.0	47.7							
11	50209	H市	46.8	55.4	48.4	43.1	51.7	48.2	49.6							
12	50210	I市	49.0	51.9	45.1	45.5	50.8	52.2	47.9							
13	50211	J市	46.9	52.2	46.3	45.8	51.1	49.4	52.9							
14	50303	K町	58.8	60.7	61.4	68.9	46.9	53.0	53.7							
15	50304	L町	55.2	59.3	57.1	44.2	50.8	47.3	51.2							
16	50305	M町	56.9	48.9	54.8	61.8	42.7	45.6	40.8							
17	50306	N町	42.1	47.7	45.0	41.6	50.3	41.8	41.9							
18	50341	O町	45.7	41.0	46.7	52.1	50.6	50.0	57.2							
19	50342	P村	48.5	38.5	49.1	49.6	41.4	47.8	52.3							
20	50343	Q村	53.5	55.2	48.1	47.2	51.8	48.6	49.7							
21	50344	R村	43.1	58.2	45.7	49.3	53.9	49.7	56.5							
22	50345	S村	46.8	63.4	61.7	55.1	54.8	51.2	45.6							
23	50561	T村	41.1	66.2	48.5	45.6	48.5	52.3	47.0							
24																
25																
26	レーダーチャート作成用															
27	↓番号(地方公共団体コード)を入力すると市町村名および数値が自動的に変わり、右のレーダーチャートに反映されます															
28																
29			賑わい・生活環境	家族・住生活	地域・コミュニティ	医療・保健環境	子育て支援サービス	働き方・男女共同参画	経済・雇用							
30		県下市町村平均	50	50	50	50	50	50	50							
31	50201	A市	46.6	42.6	49.5	48.5	46.2	52.8	53.8							
32	50208	G市	54.3	45.1	48.0	50.7	58.9	55.0	47.7							
33																
34																
35																



- ① 「分野別偏差値と総合レーダーチャートシート」下部にある「レーダーチャート作成用」の表内に、ステップ6と同じ要領でレーダーチャートを作成したい市区町村の地方公共団体コードを入力します。
- ② 右側にレーダーチャートが出来上がったことを確認します。

## Ⅲ. 補足

## 困ったときは・・・

対象シート

指標

偏差値

分野別  
レーダーチャート

分野別偏差値と  
総合レーダーチャート

元データ

取得元

- ① 利用したいデータの取得年と国勢調査の年が合わない。  
→国勢調査だけでなく「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」調査を活用するなどして、なるべく利用したいデータの取得年と割合計算の分母に使う人口数などの年が合致するようにしてください。
- ② ブックが崩れてしまった。  
→分野や項目の境界の行やセルを変更してしまうと計算式が崩れてしまう可能性があります。なるべく項目内の中央寄りのセルや行を選択し、データを抜き差しするようにしてください。
- ③ デフォルトの指標（あらかじめ入っている指標）が自分の地域の個性に合わない  
→デフォルトの指標は適宜変更いただいて構いません。データの出典や算出式が後から見ても再現できるような形で指標を作成ください。
- ④ 人口データなど、すでに都道府県としてまとめたものがある  
→正確かつ迅速にアクセスできるデータが都道府県などにある場合は、そちらを活用してください。特に年齢別のデータなどは国の統計では5歳刻みになっていることもあり、求めるデータがダウンロードできない可能性があります。